

道徳科学習指導案（2年4組）

- 1 主題名 集団生活の充実に向けた個人の役割と責任〔C(15)よりよい学校生活、集団生活の充実〕
- 2 教材名 テニス部の危機（一部改作）（出典：中学校道徳2 きみがいちばんひかるとき 光村図書）
- 3 ねらい 自分の所属する集団の意義や目指す目的を理解することを通して、自らの役割と責任を果たし、集団生活の充実に向けて道徳的に考え、判断する力を育てる。

4 主題設定の理由

(1) 教材観

①学習指導要領上の位置付け

C(15)よりよい学校生活、集団生活の充実

教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい校風をつくるとともに、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実努めること。

②主題の価値

本主題では、集団の在り方について考える活動を通して、個人の力を合わせ、チームとして取り組んでこそ達成できることがあることへの理解を深めることができる。また、目標や立場が異なる人がそれぞれの役割と責任を果たしながら共同したり互いに支え合ったりしていることに気付き、取り得る行動を広い視野から多面的・多角的に考えることで、道徳的に考え、判断していく力を高めることができる。

(2) 生徒観（男子16名、女子18名 計34名）

中学第2学年のこの時期は、生徒会活動や部活動など、多くの場面で世代交代が行われ、本格的に学校や集団の中心となって活動することになる。本学級においても、理想の集団を思い描き、希望や意欲をもって仲間と共に前向きに取り組んでいこうとする姿が見られる。

これまで、集団としての在り方を考えることができるようにするために、学級活動では、クラスをよりよくするために必要な係を考える活動を通して、クラスのために自分ができることを考え、互いに人間関係を深め、協力して行動しようとしてきた。

このような指導を通じて、生徒は、具体的に集団生活の中で一人一人が自らの役割と責任を果たすという自覚をもつことの大切さを学んできている。その一方で、集団生活の充実に向けて、自己の思いのみを先行させてしまうこともある。また、個人の目標や意識の違いを実感したり、意見がすれ違ったりして、集団としてまとまることの難しさに直面することもある。

そこで、本時の道徳科の授業では、自分が属する集団の意義や目指す目的を十分に理解し、自分の役割と責任を果たし集団生活の充実努め、互いに協力し励まし合う関係づくりに向けて、道徳的に考え判断する力を高めたいと考える。

(3) 指導観

- ・導入では、再現構成法を用いて登場人物やあらすじを確認しながら生徒自身が登場人物に自分を投影して考えることができるようにすることで、イメージ豊かに教材の中に入り込めるようにし、本時の主題に関わる問題意識をもたせることができるようにする。
- ・展開では、これまでの生活経験を想起させたり、自分自身に重ね合わせて考えさせたりすることで、自分との関わりで捉えて考えることができるようにする。また、白石君(集団を引っ張る立場)と木戸君(集団を支える立場)、僕(中立の立場)に分かれて役割演技を行うことで、それぞれの立場や気持ちを尊重しながら、集団の意義や集団生活の在り方について多面的・多角的に考えることができるようにする。
- ・終末では、課題や自らを振り返らせたり、道徳的価値と関連した身近な事例を取り上げたりすることで、集団の在り方や集団生活の充実について広い視野で見つめ、人間としての生き方についての考えを深めることができるようにする。

5 本時の展開

| | 学習活動と予想される生徒の反応 | 指導上の留意点及び支援・評価 |
|--|--|---|
| 導入 | <p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>○読み物教材「テニスの危機」について再現構成を行いながら、問題意識をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白石君→テニス経験があり、部長に選出された。練習方法を任されている。 ・場面→目標「地区大会団体優勝」を掲げたが、部員の声が出ていないと感じる。 <p>「どうしたんだよ！声出せよ！」と言ったとき、どのような気持ちだったと思いますか？</p> <p>○みんなで「地区大会団体優勝」という目標を決めたのに…。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優勝するために厳しい練習は必要だけど、続けていくのはなかなか難しいと思う。 ・木戸くん→友達とテニスができれば満足。「優勝したい」強い思いはない。 ・僕→白石君と木戸君の気持ちに共感した。皆にとって充実した部活動にしたい。 <p>○得られた問題から、課題を設定する。</p> | <p>○場面絵を提示しながら。状況を確認することで、教材の内容や登場人物の立場を捉えさせる。</p> <p>○登場人物の気持ちに共感させながら再現構成を行うことで、自分事として考えられるようにする。</p> <p>○これまでの生徒自身の経験を想起させることで、全員が同じ気持ちでいることや厳しい練習を続けていくことの難しさにも気付けるようにする。</p> <p>●補助発問：立てた目標を達成するために、厳しい練習や緊張感のある練習を続けられますか？</p> <p>○木戸君の気持ちについて問うことで、集団は目標や立場が異なる人がいることに気付くことができるようにする。</p> <p>●補助発問：全員が、同じ目標をもっている(もち続けていられる)と思いますか？</p> <p>●補助発問：どちらの立場に共感できますか？</p> <p>○中立の立場である「僕」を設定することで、白石君や木戸君のどちらかに限定せず、自分と近い立場に共感させる。</p> <p>○課題に対する考えを書かせることで、授業終了時の自分の考えと比べることができるようにする。</p> |
| | <p>課題： 集団生活の充実に向けて、どのようなことが必要なだろうか？</p> | |
| 展開 | <p>2 教材「テニス部の危機」を通して話し合う。</p> <p>○教材にかかわれている道徳的価値について、自分なりの考えをもつ。</p> <p>「なんでだよ……。皆で優勝するためじゃなか！」と言ったとき、どのような気持ちだったと思いますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なんで俺の気持ちを分かってくれないんだ。 ・厳しい練習を乗り越えて優勝したときの気持ちを、みんなにも経験してほしいのに。 ・仲間と共有する喜びは、何倍にもなる。 ・達成することだけでなく、それまでの練習(過程)が、集団や個人の成長につながる。 <p>○白石君、木戸君、僕の三つの立場に分かれて役割演技を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・僕→まずは、みんなで人間関係を深めることが大切だと思う。 ・白石君→チームとして取り組んで達成できることがある。 ・木戸君→自分の悩みを伝えたり、部長を支えたりしていく。 <p>○役割演技の台詞について全体でアドバイスをを行い、道徳的価値について考える。</p> | <p>○日頃の学校生活を想起させることで、集団生活の充実に向けての考えを深めていくことを捉えさせる。</p> <p>●補助発問：「皆で優勝することで得られること」とは、どのようなものだと思いますか？</p> <p>○木戸君にも集団生活の充実に向けての思いがあることを捉えさせることで、コートを出て行ってしまったときの気持ちに着目させる。</p> <p>●補助発問：「(団体)優勝だけがすべてではない」と考えている部員にとっての”集団生活の充実”とは、どのようなものだと思いますか？</p> <p>●補助発問：白石君と木戸君がいるテニス部をまとめるには、どうすればよいですか？</p> <p>○簡単なウォーミングアップを行い、人物カードや小道具を使用することで、役になりきれるようにする。</p> <p>○白石君や木戸君の演技から見いだすよう事前に説明をすることで、集団を構成するそれぞれの立場における役割と責任があることを捉えることができるようにする。</p> <p>○「もし自分だったら、どう演じるか？」を考えさせることで見ている生徒にも道徳的価値を認識できるようにする。</p> <p>○役割の交代をして役割演技を行うことで、互いの立場や気持ちに対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>○他者の多様な感じ方や考え方に触れ、これまでの自分を振り返ることで、これからの生き方の課題を考えられるようにする。</p> |
| | <p>3 課題を振り返り、これからの自分について考える。</p> <p>○課題やこれまでの自分を振り返り、これからの自分についてワークシートに書く。</p> <p>○振り返りを発表し、全体で共有する。</p> | <p>○課題を振り返りこれからの自分について考えることで、ねらいとする道徳的価値を、自らの人間としての生き方に生かしていけるようにする。</p> <p>【評価の視点】 集団の在り方について、自分との関わりで捉え、よりよい集団生活に向けて考えていたか。(発言・ワークシート・演技)</p> |
| 終末 | <p><振り返り></p> <ul style="list-style-type: none"> ・立場や経験などにより、それぞれの思いや考えは異なる。しかし、相手の立場に立って考えながら、自分の役割と責任を自覚して行動していくことが集団生活の充実につながる。〔多面的・多角的な見方〕 ・集団としてまとまることの大変さを乗り越えるためには、人間関係を深めることや個性を発揮することも大切である。それにより、集団生活でしか感じられない喜びや達成感を得たり、集団や個人としての成長ができたることが、集団生活の充実につながる。〔価値の深い理解〕 | |
| <p><本研究の主題に迫るための具体的な手だて></p> <p>(1) 自分との関わりの中で考えを深めるための導入・発問の工夫</p> <p>(2) 対話を深めるための指導過程の工夫</p> | | |